



ふれあい月間 “目と目で通じ合うあいさつ”

先月の学校公開、先日の運動会と、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、子供たちに励ましのお言葉をいただきましてありがとうございました。運動会では、「できなかった自分から、練習を重ね、できるようになった自分を見てもらおう」と、子供たちは、スローガンの如く、全力でやりとげたとします。行事を経験することで大きく成長していく子供たちのたくましさには驚かされるばかりです。

さて、6月は「ふれあい月間」で、「ふれあい」とは、「心を通い合わせること」です。言葉では簡単に表現できますが、いざ行動となるとちょっと躊躇してしまうことがあるのではないのでしょうか。先日、全校朝会で「目と目で通じ合うあいさつ」という話をしました。「あいさつ」は人と人が心を通わせる第一歩だと思います。

ある日の新聞に、「人と犬は互いに見つめ合って絆を深めている」という記事がありました。犬は3万年前から人間と暮らしてきたと考えられており、なぜ、犬が人間と長く生活を共にできたかを解く手がかりを探ってきた大学チームの研究結果が紹介されたものです。内容は、飼い主と犬が互いに見つめ合う時間に差をつけて、犬の体内の「オキシトシン」というホルモンの変化を調べたものです。その結果、長時間見つめ合ったペアの飼い主も犬も「オキシトシン」の量が増えていたそうです。この「オキシトシン」は、赤ちゃんに授乳中の母親の体内で増えるなど、人間が安心感を得たり、信頼感が高まったりすると分泌されると考えられているものだそうです。

通常の動物では、相手を直視することは威嚇のサインになることが多いと言われていたのですが、人間と犬の間では親愛のしるしになるようです。ちなみに、我が家でも犬を飼っていますが、確かにじっとシッポを振りながら、私たちの行動を見つめていることが多くあります。

私たちの生活の中でも、お互いに顔を合わせて行う「あいさつ」は、自分と相手を大事にすることにつながり、尊重することにつながります。また、「あいさつ」の後には、「いい天気ですね」などの会話に発展し、仲間作り、人と人との関係作りの始まりでもあります。南秋留小学校に通う全ての子が、「あいさつ」ができ、「あいさつ」を通して気持ちの良い学校生活が送れるようになれば、学習に向かう姿勢だけでなく、ご家庭では親子の絆の深まりにも結びつくものではないのでしょうか。6月のふれあい月間を機会に、ぜひ「あいさつ」を見直してみたいはいかがでしょうか。

5月19日(土)に、PTA校内美化活動が行われました。多くの児童、保護者、地域の方々にご協力をいただき、2階廊下の壁のペンキ塗りを行いました。子供と大人とが、「学校をきれいに」という共通の目的で汗を流し活動する姿は、南秋留小学校の絆の深さを感じさせられた一日でした。このような地道な取組が、あいさつとともに定着していけば、一人一人の子供たちの心の成長に、親子の絆に、すべての人々の心の絆へと必ず結びついていくものと確信しています。

◇ 6月の行事予定

※木曜日はスクールカウンセラーの出勤日です。

1日(金) 環境・ふれあい月間始 個人面談始 午前授業	13日(水) 午前授業
4日(月) 委員会	14日(木) 集会(図書)避難訓練
5日(火) 午前授業	18日(月) 脊柱側弯検診(5年)クラブ
6日(水) 歯科(124年)午前授業 いじめについて考える日	20日(水) あいさつ運動
7日(木) 午前授業 歯科(356年)	22日(金) こころの劇場(6年) 読書週間終
8日(金) 午前授業	25日(月) クラブ
9日(土) 青少健あそび村 市P連総会	27日(水) 午前授業
11日(月) 水泳指導始 読書週間始 クラブ	28日(木) 児童集会
12日(火) 体力テスト 個人面談終 午前授業	29日(金) 救急入門コース(5年) 環境・ふれあい月間終

